

香川芳子

女子栄養大学学長



放射線に関する
基礎知識を身につけ
慎重深く行動しましょう

東日本大震災の発生によって起きた福島第一原子力発電所の事故後、環境や食品などの放射能汚染が恐れられ、多くのかたが健康障害の情報に翻弄されています。それによる風評被害も深刻です。

地球上に生きている人間はつねに宇宙線や、岩石に含まれるウランやトリウム、食品に含まれるカリウム40など、自然界からの放射線を受けており、また人間自身も放射線を放出しています。ですから、環境や食品中の放射線量をゼロにすることはできません。ラジウム鉱泉のように有効利用もあ

ります。医療現場では、レントゲン撮影やMRI造影などが欠かせませんし、がんが直接照射する放射線治療も行なわれています。

今、私たちがとるべき行動はむやみに恐れるのではなく、放射線の基礎知識を身につけ、放射線による影響を最小限にするくふうをすることです。そして、今夏の節電対策で痛感したように、今までの快適で便利な生活が電力の恩恵を受けて成り立っていたことを心に刻んで慎重深く生活し、被災地の復興支援に寄り添って日々暮らしていくことだと思います。